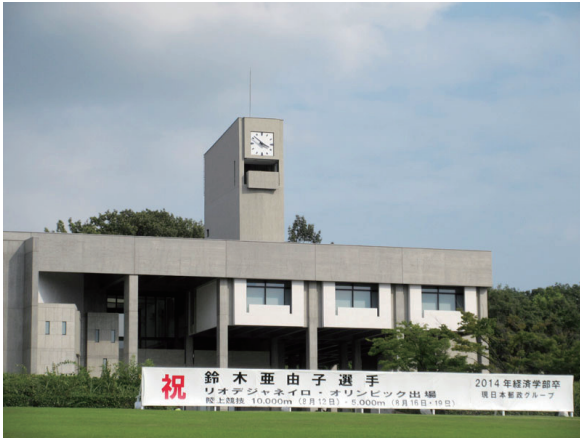


あけましておめでとうござい ます

理事長 岡本祐幸

昨年は、リオデジャネイロオリンピックで日本選手が大活躍して、大いに盛り上がりました。特に嬉しかったのは、名古屋大学の卒業生の鈴木亜由子さん（2014年経済学部卒）が陸上の5千メートル走と1万メートル走の日本代表として、現地に赴いたことでした。今回は、メダルを取れませんでした。次



の東京オリンピックでの活躍を期待したいと思います。名古屋大学のホームページには、以下のように書かれています。「旧帝国大学出身の女性がオリンピックに出場するのは、鈴木選手が初めてのことです。本学出身のオリンピック出場選手としては、1932年のロサンゼルス大会、1936年のベルリン大会に出場した清川正二氏以来となります。清川氏は、ロサンゼルス大会では名古屋高等商業学校（名大経済学部の前身）3年生で、男子100メートル背泳ぎに出場し金メダルを獲得しました。ベルリン大会でも同種目で銅メダルを獲得しています。」もう少し詳しく書きますと、「ちよつと名大史 173」によると、清川氏は1913年に豊橋市に生まれ、1925年に豊橋中学校（現愛知県立時習館高校）を卒業したようですが、鈴木さんも豊橋市出身、時習館高校卒業です。ので面白い偶然ですね。更に、「名大史ブックレット 名古屋大学

スポーツの歩み」（高橋義雄著）によると、旧制第八高等学校（名大教養部の前身）を卒業後、東京帝国大学へ進学した、八高漕艇部OBの中川春好氏が東京帝国大学のクルーが1936年のベルリンオリンピックに出場した時の、メンバーだったそうです。いずれにせよ、鈴木選手の出場は80年ぶりの快挙でした。

全国七大学総合体育大会（いわゆる七大戦）は、もともと帝国大学の流れを汲む国立七大学（北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）の間で独自に開催していた定期戦を取りまとめた大会です。1962年に「国立七大学総合体育大会」として開始されました。名古屋大学は1989年の第28回大会、1996年の第35回大会、2003年の第42回大会と、合計3度の総合優勝を果たしています（いずれも地元開催）。主幹大学は、北大↓九大↓阪大↓京大↓東北大↓東大↓名大の順

に持ち回りになっています。参加大学に所属する運動部（正式種目42競技）が参加して順位をつけ、全競技分の順位のポイントを合算して総合順位を決めています。今年の第56回大会は名古屋大学が主管大学をとめています。既にアイスホッケーは、2016年12月3日から9日までの間に闘われ、名古屋大学は6ポイントを獲得して、3位に着いています。名古屋大学生協も、地元開催ということ、様々な活動を通して、七大戦を支援しています。例えば、マスコットキャラクター募集への協力、七大戦グッズの作成・販売、最新順位表の看板の北部厚生会館前への設置、他大学からの試合参加者向けの宿泊施設の確保、弁当の手配、競技団体の懇親会の手配などです。14年ぶりの総合優勝を目指して、皆で名大チームを応援しようではありませんか。本年も組合員の皆様のご多幸を祈ります。